

Libertinus + 原ノ味フォント 設定例

LuaTeX Docker Remote

2025 年 10 月 15 日

1 はじめに

このドキュメントは、 \LaTeX (Lua \LaTeX) において、Libertinus Math、Libertinus Serif、および原ノ味フォント (Harano Aji Fonts) を組み合わせて使用する設定例です。

原ノ味フォントは、Adobe Source Han Serif と Source Han Sans をベースに、 \TeX 向けに最適化された日本語フォントです。

2 欧文テキスト

2.1 通常のテキスト

This is regular text in Libertinus Serif. **This is bold text.** *This is italic text.* ***This is bold italic text.***

2.2 サンセリフ体

This is sans-serif text in Libertinus Sans. **Bold sans-serif.** *Italic sans-serif.*

2.3 等幅フォント

This is monospace text in Libertinus Mono. `const x = 42;`

3 日本語テキスト

3.1 明朝体とゴシック体

これは日本語の明朝体（原ノ味明朝）です。これは太字のゴシック体（原ノ味ゴシック **Medium**）です。

これはゴシック体（原ノ味ゴシック）です。**太字のゴシック体（原ノ味ゴシック Bold）**です。

3.2 等幅日本語

これは等幅の日本語フォント（原ノ味ゴシック）です。

4 原ノ味フォントの特徴

原ノ味フォントは以下の特徴を持っています：

- Adobe Source Han フォントをベースにした高品質な字形
- $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ での使用に最適化されたメトリクス
- $\text{pT}_{\text{E}}\text{X}/\text{upT}_{\text{E}}\text{X}/\text{LuaT}_{\text{E}}\text{X}$ など、各種 $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ エンジンで利用可能
- JIS2004 字形に対応
- 豊富なウェイトバリエーション

5 数式

5.1 インライン数式

オイラーの公式: $e^{i\pi} + 1 = 0$

二次方程式の解: $x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$

5.2 ディスプレイ数式

ガウス積分:

$$\int_{-\infty}^{\infty} e^{-x^2} dx = \sqrt{\pi} \quad (1)$$

テイラー展開:

$$e^x = \sum_{n=0}^{\infty} \frac{x^n}{n!} = 1 + x + \frac{x^2}{2!} + \frac{x^3}{3!} + \cdots \quad (2)$$

行列:

$$\mathbf{A} = \begin{pmatrix} a_{11} & a_{12} & \cdots & a_{1n} \\ a_{21} & a_{22} & \cdots & a_{2n} \\ \vdots & \vdots & \ddots & \vdots \\ a_{m1} & a_{m2} & \cdots & a_{mn} \end{pmatrix} \quad (3)$$

5.3 数学記号

集合: $\mathbb{N} \subset \mathbb{Z} \subset \mathbb{Q} \subset \mathbb{R} \subset \mathbb{C}$

論理記号: $\forall x \in \mathbb{R}, \exists y \in \mathbb{R} : x < y$

演算子: $\nabla \cdot \mathbf{F} = \frac{\partial F_x}{\partial x} + \frac{\partial F_y}{\partial y} + \frac{\partial F_z}{\partial z}$

6 混在テキスト

日本語と英語の混在: Lua \LaTeX は日本語文書作成において、pdf \LaTeX よりも優れた Unicode サポートを提供します。特に、日本語フォント（例：原ノ味フォント）と欧文フォント（例：Libertinus）の組み合わせが容易です。

数式を含む文章: 関数 $f(x) = x^2$ の導関数は $f'(x) = 2x$ であり、これは「にエックス」と読みます。

7 フォント選択のポイント

原ノ味フォントと Libertinus の組み合わせは、以下の理由で推奨されます：

1. **調和性:** 両フォントの x-height やストロークの太さが良く調和する

2. **可読性:** 学術文書に適した高い可読性を持つ
3. **オープンソース:** 両方ともオープンソースで自由に利用可能
4. **LuaTeX 最適化:** 原ノ味フォントは特に LuaTeX での使用に最適化されている

8 まとめ

この設定により、以下の組み合わせが実現されています：

- 欧文本文: Libertinus Serif
- 欧文サンセリフ: Libertinus Sans
- 欧文等幅: Libertinus Mono
- 日本語明朝: 原ノ味明朝 (HaranoAjiMincho)
- 日本語ゴシック: 原ノ味ゴシック (HaranoAjiGothic)
- 数式: Libertinus Math

これらのフォントは、学術文書や技術文書において優れた可読性と美しい組版を提供します。特に原ノ味フォントは、LuaTeX-ja コミュニティで最も推奨されているフォントの一つです。